

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																					
	<p>現 行</p> <p>2-3 補正係数 (1) 補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;"><b>表2.2 補正係数の適用基準</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">規格・仕様</th> <th style="width: 30%;">適用基準</th> <th style="width: 5%;">記号</th> <th style="width: 60%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数 裏込コンクリートを施工しない場合</td> <td>対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K<sub>1</sub></td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>空積の場合</td> <td>対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K<sub>2</sub></td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;"><b>表2.3 補正係数の数値</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 20%;">記号</th> <th style="width: 75%;">ブロック積工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数 裏込コンクリートを施工しない場合</td> <td>K<sub>1</sub></td> <td>0.92</td> </tr> <tr> <td>空積の場合</td> <td>K<sub>2</sub></td> <td>0.87</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-4 直接工事費の算出 練積の場合の直接工事費=(設計単価(注1)×設計数量)+ブロック材料費(注2)+胴込・裏込めコンクリート材料費(注3) 空積の場合の直接工事費=(設計単価(注1)×設計数量)+ブロック材料費(注2)+胴込砕石材料費(注4)</p> <p>(注1) 設計単価=標準単価×(K<sub>1</sub> or K<sub>2</sub>) (注2) ブロック材料費=ブロック単価 [円/個] × n<sub>1</sub>当り使用量 [個/n<sub>1</sub>] × 設計数量 [n<sub>1</sub>] (注3) 練積の場合は、コンクリート材料費を計上する。材料費の計上は次式による。 材料費=コンクリート(胴込・裏込)材料単価×設計数量×1.12(ロス分) (注4) 空積の場合は、胴込砕石材料費を計上する。材料費の計上は次式による。 材料費=砕石(胴込)材料単価×設計数量×1.12(ロス分)</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 布積、谷積を問わず適用出来る。</li> <li>(2) 設計面積は、ブロック積本体の面積と調整コンクリートの面積を合計した面積とすること。</li> <li>(3) ブロック積工は、目地、水抜パイプ等の施工(材料費含む)の有無に関わらず適用出来る。</li> <li>(4) 遮水・止水シート及び吸出し防止材を全面に施工する場合は「第II編第2章③コンクリートブロック積(張)工」により別途計上する。</li> <li>(5) 小口止コンクリートは、「第II編第4章コンクリート工」により別途計上する。</li> <li>(6) 基礎・天端コンクリートを施工する場合は「第II編第2章③コンクリートブロック積(張)工の現場打基礎コンクリート工及び天端コンクリート工」により別途計上する。</li> <li>(7) 基礎・裏込砕石を施工する場合、基礎砕石は「第II編第2章②基礎・裏込砕石工」、裏込砕石は「第II編第2章③コンクリートブロック積(張)工」により別途計上する。</li> </ol> <p style="text-align: center;">VI-1-⑤-3</p>	規格・仕様	適用基準	記号	備考	補正係数 裏込コンクリートを施工しない場合	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>1</sub>	対象数量	空積の場合	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>2</sub>	対象数量	区分	記号	ブロック積工	補正係数 裏込コンクリートを施工しない場合	K <sub>1</sub>	0.92	空積の場合	K <sub>2</sub>	0.87	<p style="text-align: center;">改 正 現 行</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(5) 小口止コンクリートは、「第II編第2章③コンクリートブロック積(張)工の現場打小口止コンクリート」により別途計上する。</p> <p>(6) 基礎・天端コンクリートを施工する場合は「第II編第2章③コンクリートブロック積(張)工の現場打基礎コンクリート工及び現場打天端コンクリート工」により別途計上する。</p>	<p>記載の変更</p>
規格・仕様	適用基準	記号	備考																					
補正係数 裏込コンクリートを施工しない場合	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>1</sub>	対象数量																					
空積の場合	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>2</sub>	対象数量																					
区分	記号	ブロック積工																						
補正係数 裏込コンクリートを施工しない場合	K <sub>1</sub>	0.92																						
空積の場合	K <sub>2</sub>	0.87																						
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																					